2018年度 第2回 次世代陸モデル開発・応用・社会実装に関する合同ワークショップ

日時: 2019年2月19日(火) 13:00-18:30 (会場は12:00以降空いています)

会場:東大本郷キャンパス 工学部1号館

口頭発表会場:14 号教室(1 階 124,講義時 81 名/試験時 54 名)

ポスター発表会場:13 号教室 (1 階 122.講義時 63 名/試験時 42 名)

懇親会会場:13号教室(18:30-)

※会場は本郷キャンパスになります。前回と異なる会場ですのでご注意ください。

• 会場へのアクセス

本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)より徒歩8分 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)より徒歩6分 湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)より徒歩8分 東大前駅(地下鉄南北線)より徒歩1分 春日駅(地下鉄三田線)より徒歩10分

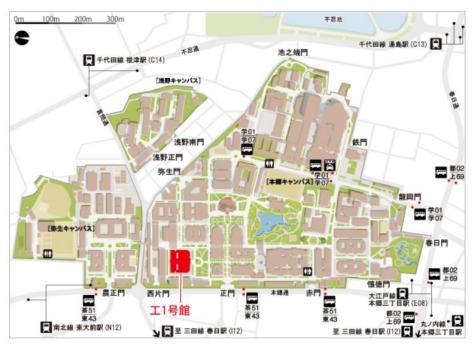
・参考 URL

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01 02.html (本郷キャンパスアクセス) https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01 04 02 j.html (本郷キャンパスマップ工学部 1 号館)

•緊急連絡先

住所:= 277-8574 千葉県柏市柏の葉 5-1-5 東京大学生産技術研究所 附属千葉実験所 芳村研究室 電話番号:= 04-7136-6965 (芳村研究室)

メール: onuma@iis.u-tokyo.ac.jp (芳村研究室 特任研究員 大沼友貴彦)



検討会プログラム (敬称略)

- 13:00-13:10 趣旨説明および参加者の自己紹介 芳村圭(東京大学生産技術研究所)
- 13:10-13:35 極域気候モデル NHM-SMAP 庭野匡思(気象庁気象研究所)
- 13:35-14:00 接地層における乱流の空間構造を見る渡辺力(北海道大学低温科学研究所)
- 14:00-14:25 天気予報モデルにおける粗度境界層パラメタリゼーションの開発 草開浩 (気象庁数値予報課)
- 14:25-14:50 A study of litter effect by control experiment and modeling with CLM 馬文超(筑波大学アイソトープ環境動態研究センター)
- 14:50-15:10 ILS 開発の進捗について 新田友子 (東京大学生産技術研究所)
- 15:10-15:30 ソフトウェアとしての陸域モデル 荒川隆(高度情報科学技術研究機構)
- 15:30-16:30 **ポスターコアタイム** (ポスター発表の詳細は 3P にあります)
- 16:30-16:50 MATSIRO への衛星シミュレータの適用 清木達也 (海洋研究開発機構)
- 16:50-17:10 全球高解像度水文地形データの整備状況について 山崎大(東京大学生産技術研究所)
- 17:10-17:30 水資源・作物・土地利用を考慮した地球システム統合モデルによる気候リスク評価 横畠徳太(国立環境研究所)
- 17:30-17:50 河川からの栄養塩流入が全球の海洋生態系、炭素循環に与える影響: MIROC-ESM(CMIP6 ver)を用いた初期解析

山本彬友(海洋研究開発機構)

17:50-18:10 地球システムモデルの陸域: CMIP6 とその先 羽島知洋 (海洋研究開発機構)

18:10-18:20 総合討論

18:30- 懇談会 (ポスターセッション会場と同じ 13 号教室で行います。ケータリングで食事を用意しています。アルコール代 1500 円を徴収させて頂きます)

ポスターセッション (縦方向 A0 サイズでお願いします)

- 1. 動的全球植生モデル SEIB-DGVM の出力可視化 佐藤永(海洋研究開発機構)
- 2. Quantify the range of projections of future changes in glacier mass caused by differences among observed past climate datasets

渡辺恵 (東京工業大学)

3. Glacier runoff evolution in Central Europe: demonstration of an energy balance-based glacier model with debris effect

佐々木織江 (東京工業大学)

- 4. Estimating River Bathymetry for CaMa-Flood using Data Assimilation Techniques Menaka Revel(東京工業大学)
- 5. 全球陸面過程モデル MATSIRO を用いた雪氷微生物繁殖の季節および地域特性 大沼友貴彦(東京大学生産技術研究所)
- 6. 全球への適用を目指した地下水三次元流動モデルの開発状況 三浦陽介(東京大学生産技術研究所)
- 7. 汎用カプラによる陸面・河川モデルと水資源モデルの結合 竹島滉(東京大学生産技術研究所)
- 8. 水蒸気同位体比データ同化による気象予測改善 多田真嵩 (東京大学生産技術研究所)
- 9. 千年紀気候復元に向けた気候プロキシデータ同化 庄司悟 (東京大学生産技術研究所)

10. 日別気象データを用いて推定された主要作物の全球栽培暦 飯泉仁之直 (農業環境変動研究センター)

協賛

- ・文部科学省 統合的気候モデル高度化研究プログラム
- ・文部科学省 北極域研究推進プロジェクト
- ・科学研究費補助金 特別推進研究 グローバル水文学の新展開
- ·環境省環境研究総合推進費 S-12
- ・戦略的イノベーション創造プログラム 国家レジリエンス (防災・減災) の強化